

どんな境遇で生まれ育った若者も あきらめなくていい社会を

若者おうえん基金
2025



プロジェクト期間

8月28日(木) →

11月26日(水)

23:00まで

クラウドファンディング実施中!

目標金額 900 万円 ご支援お願いいたします!

家庭での貧困や虐待をはじめ、さまざまな理由から**親などの頼れる大人**がいない**若者**たちは、児童養護施設や里親などの支援制度から巣立つと、学び、働き、暮らすうえで、さまざまな困難に直面します。**コロナ禍**以降、昨今の**物価上昇**などもあり支援団体に寄せられる**孤立した若者からの SOS** はますます増加しています。

そんな若者たちを支援のプロである**支援団体・伴走支援者**の方々と共にサポートし、彼らが**将来をあきらめずに生きていける社会づくり**に取り組む基金が、今回**ご寄付を募る「若者おうえん基金」**です。

皆さまからいただくご寄付を、若者に寄り添った**伴走支援**をおこなう**支援者・団体に助成**することで、生きづらさや**困難を抱えた子ども・若者たちに支援**を届けています。あたたかいご寄付・応援を何卒よろしくお願いします。

ご支援（寄付）の方法

① プロジェクトページにアクセス

QRコードを読み込み、または次のワードで検索



若者おうえん基金 READYFOR



② 支援コース（リターン）を選択

「プロジェクトの支援にすすむ」ボタンをクリックし
選択画面から支援コースを選択

プロジェクトの支援にすすむ

③ 案内にそって手続きをすすめる

新規登録・ログイン後、サイトの案内にそって
お支払い方法などを入力し、ご支援完了

お問
合せ

首都圏若者サポートネットワーク事務局

東京都港区六本木7丁目15-17 ユニ六本木ビル7階C号室

公益社団法人ユニバーサル志縁センター内

TEL → 03-6450-1820 / FAX → 03-6450-1821 / MAIL → info@u-shien.jp



ご支援よろしく
お願いいたします

このプロジェクトへのご寄付は
税制優遇の対象となります。
詳しくは、クラウドファンディングの
プロジェクトページをご覧ください。

首都圏若者
サポート
ネットワーク

若者おうえん基金のしくみ

寄付者の皆さま



ご寄付

若者おうえん基金（首都圏若者サポートネットワーク）

寄付金を活用

支援活動への助成

審査を経て
助成金を給付

子ども・若者に伴走する 支援者・団体

アフターケア事業所 自立援助ホーム
里親家庭 若者支援 NPO ほか

助成金を
活用した支援

困難を抱えた子ども・若者

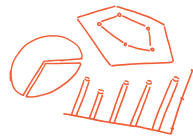


寄付金を活用

体験就労プログラム

若者支援の実態を
調査・研究

政策提言などにつなげる



※募金額の 80% を若者おうえん基金の助成、
5% を当ネットワークが運営する体験就労プログラムにて、
15% を運営経費に使わせていただきます。

これまでの実績（2017～2024 年）



過去の助成総額

1 億 5059 万 5788 円



過去のクラウドファンディングでご寄付いただいた人数

のべ 8904 人



村木 厚子 さん

全国社会福祉協議会 会長
首都圏若者サポートネットワーク 顧問

「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童福祉」、どの言葉もよく耳にします。でも「若者福祉」という言葉は聞いたことがありませんよね。「若くて、働けるんだから」「もう大人なんだから」福祉の対象だと思ってもらえない、「見えにくい社会課題」です。

たとえば、児童養護を出た若者たちの約 5 割が非正規、「収入より支出が多い」とする若者が 2 割超、病院等を受診できなかった経験がある若者も 2 割。ハンディを抱えて「大人」になること、親の支援が得られないままに「大人」になることがどれほど厳しい道であるかがわかります。

皆さんの力で、彼らがマイナスからのスタートではなく、ゼロからのスタートができるよう、応援してください。どうぞ、ご協力、よろしくお願いいたします。



山本 昌子 さん

ボランティア団体 ACHA プロジェクト 代表、映画監督
首都圏若者サポートネットワーク アンバサダー

児童養護施設出身や虐待を経験した若者たちと一緒に、若者おうえん基金の活動に携わらせてもらっています。この活動を通して、こんなにも多くの方が関心を寄せ、行動し応援してくださっていることを知り、心強く嬉しく感じています。

実際に、18 歳以降の措置解除後の社会的養護出身者や保護されることなく虐待の経験を生き抜いた若者たちを支える団体の活動が、若者おうえん基金のご支援により活動継続し、発展していく姿を目の当たりにしてきました。当事者が救われていく姿にふれ、皆さんのご支援に対する感謝といっぱいです。

私たちの人生は「生きづらさ」「孤独感」「虐待の後遺症」により押しつぶされそうな毎日が目の前に広がっています。それでも皆さんの助けがもたらしてくれる、たくさんの人に応援され見守られているという事実や「ひとりじゃない」という実感が、「生きたい」につながっています。どうか応援よろしくお願いいたします。

助成金を活用した支援を受けた若者と伴走支援者の声



伴走支援者

桜川 新矢 さん

NPO 法人 DV 対策センター
女性と子どもの居場所ラフェリーチェ

DV・虐待、障がい、犯罪、困窮など、多様な課題を抱えている若者を支援する際には、食支援や居住支援のほか、倫理観向上の手助けから就業支援など、包括的な支援を必要とします。助成をいただくことで、シェルターの環境およびスタッフの配備など、若者の個々の事情に応じて丁寧な対応をおこなうことができております。

若者おうえん基金様には、昨年に引き続き助成をいただいております。いかに 1 人の若者に向き合っているのか、という点を評価していただけことは、彼らを自立へ導く上で、非常に大きな支えとなっております。



支援を受けた若者

Y さん

（伴走支援によって）生きる希望を見失っていた自分に、社会に出る勇気を与えてくれました。

自分の抱える苦しみを親身になって受け止めてくれて、社会に出るうえで未熟な点は叱ってくれました。

（ラフェリーチェの方々）本当に、第二の親のような存在で、自分をたくましく成長させてくれました。お陰様で会社にも就職できました。本当に、ありがとうございます。

クラウドファンディングのリターン紹介

社会的養護に関わりのある
リターン品

詳細はクラウドファンディング
プロジェクトページにて



ご支援は
こちらの QR から

クラウドファンディング
プロジェクトページ



さまざまな形でご支援いただけるコースを用意しました。そのなかには、若者おうえん基金がこれまでに助成した若者支援団体のオリジナル商品や社会的養護に関わりのある作家による作品などをリターンにしたコースもあります。

リターン品の選定は、社会的養護出身の若者たちを中心としたチームでおこないました。